

第64回 全国ろうあ者大会 in とくしま

全国阿波おどりコンテストの優勝を報告

29日、東京高円寺阿波おどりで腕を磨いた「たつのおとし子連」のメンバーが、区長を表敬訪問し、6月11日に開催された「第64回全国ろうあ者大会 in とくしま」の特別企画「全国阿波おどりコンテスト」での団体連の部優勝を報告しました。

全国ろうあ者大会は、一般財団法人全日本ろうあ連盟が、昭和22年から聴覚障害者の社会的自立と社会的地位の向上及び障害福祉の増進を目指して、開催しているもので、今年は、徳島県を会場に開催されました。

徳島県は、説明するまでもありませんが、全国に知られる阿波踊りの本場です。そこで、全国ろうあ者大会の特別企画として、「全国阿波おどりコンテスト」が実施されました。



杉並区の高円寺阿波おどりも今年で60周年を迎え、東京の夏の風物詩となっています。その歴史の中で、聴覚障害者が中心となり結成されたのが「たつのおとし子連」です。結成は、昭和56年で、杉並区聴覚障害者協会が中心となり、手話サークル杉の会の協力のもと活動しています。音の響きを身体で感じ、また目で合図をみることによって、一糸乱れぬ踊りを披露してきました。

今回の特別企画には、「たつのおとし子連」のほか、大阪、兵庫から1連ずつ参加しました。「たつのおとし子連」は、結成以来、高円寺阿波おどりに毎年参加し、東京都知事賞や杉並区長賞など数々の賞を受賞してきました。

また、様々なイベントにも招かれ、勇壮華麗な踊りを披露してきました。今回、本場徳島の特別企画でも、日頃の練習の成果を発揮し、見事に団体連の部で優勝しました。



29日、午前11時30分、連のメンバー4名が区役所を訪問し、大会での優勝を田中区長に報告しました。報告を受けた田中区長は、「もうすぐ高円寺阿波おどりですし、今回は60回の記念大会なので、ぜひ多くの方々に素晴らしい演舞を見せてください」と話していました。高円寺阿波おどりは、8月27日・28日で開催されます。